# 広報文芸

## 自由律俳句

おおくさの会編集室選

何かいい事ないかと水やりしながら花に聞く　茶屋　長谷川由美子

秋の空に映える赤い梅もどきの実　神戸上　柴田　篤子

秋風に猛暑忘れホッと一息　宝谷　長尾　智惠

赤や紫桃色と種がはじけて鳳仙花　茶屋　小林　道子

風が秋やっと生り出したピーマンの青々　生山　渡邊　圭子

米袋片付き後はただ検査の結果を待つ　茶屋　藤原　寿郎

## 俳句

駄句駄句会編集室

ガザの子へ　この無花果を　届けたい　萩原　岡本　健三

風が来て　風となりゆく　秋の蝶　宮内　木村萬佐子

秋天や　線路えがきし　飛行雲　宮内　田邊登志美

木漏れ日の　ひかりもとめる　秋の草　宮内　船越　裕子

ありがとう　一言温し　菊日和　矢戸　和田　淑子

食の秋　医師看護師さんの　やさしさよ　神戸上　笹間　玲子

秋の陽に　鉱山現(うつ)す　青春や　下石見　矢田貝　元

## 川柳

駄句駄句会編集室

天地異変　家財おしまず　まず逃げろ　霞　渡邊　文照

## 短歌

夕間暮れしじまを破り里山に　こだまするのはフクロウの声　湯河　山田　司郎

秋晴れにぽっかり雲や紅葉狩り　自然満喫天体の郷　下石見　浅川　三郎

どんよりと見通悪しき雲行に　現実重ね世相読み取る　下石見　浅川　三郎

秋ゆかば山の小路を静々と　落葉踏みしめノルディックウォーク　上石見　福田　輝之

朝明に夜は日々と明けゆきて　肩にほほのせ孫は眠りぬ　上石見　福田　輝之

やってやる気持ちは大いに有るけれど　体が思うに動かぬ悲し　下石見　佐伯みすず

山いらぬ畑もいらぬ田もいらぬ　命もいらぬと思う時あり　下石見　佐伯みすず

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介しています。個人での投稿もできますので、お気軽にお送りください。

## 「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ケ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

**12月の日程**

3日(日)14時～15時30分

場所：文化センター第3会議室

【問合せ】

石田由香里（080-3052-9933）

浅野　博美（090-9734-1887）

### 「忙しい・せわしい・慌ただしい」

①両手の五指を軽く曲げて下に向け、胸の前で左右交互にかき混ぜるよう表現する。

### 「サンタクロース」

②両手のひらを上に向け、交互に上下に動かす。

軽くすぼめて丸くした右手を、あごの下で握り下ろす。サンタさんが袋を担いで楽しそうに揺れているような動きをする。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」